

東京理科大学総合研究院バイオオルガノメタリクス研究部門
研究交流会プログラム

1. 開催日時：2017年3月7日（火）12時10分～18時00分

2. 開催場所：東京理科大学神楽坂キャンパス2号館2階 211教室

3. プログラム

12：10～

開会の挨拶

基調講演

バイオオルガノメタリクスの到達点と将来展望

鍛冶 利幸（東京理科大学薬学部薬学科，バイオオルガノメタリクス研究部門長）

特別講演

座長：鍛冶利幸（東京理科大学）

12：40～13：10

金属クラスターの精密合成と物性解明

根岸 雄一（東京理科大学理学部一部応用化学科）

特別講演

13：10～13：40

オルガノメタリクスの特性を活用したインターロック化合物の化学

斎藤 慎一（東京理科大学理学部一部化学科）

13：40～13：50 休憩

特別講演

座長：山本千夏（東邦大学）

13：50～14：20

ヒトとマウスの遺伝子発現制御に係わる配列を用いた遺伝子ネットワークの比較解析

宮崎 智（東京理科大学薬学部生命創薬科学科）

特別講演

14：20～14：50

血管内皮細胞メタロチオネイン誘導機構の解析ツールとしての有機-無機ハイブリッド分子

藤江 智也（東邦大学薬学部衛生化学教室）

特別講演

14：50～15：20

コンドロイチン硫酸の機能解析に基づく疾患糖鎖生物学 -革新的治療薬の開発を目指して-

北川 裕之（神戸薬科大学学生化学研究室）

15：20～15：30 休憩

15 : 30 ~ 17 : 30

一般講演

座長：藤原泰之（東京薬科大学），高橋勉（東京薬科大学）

NHC 配位子を持つルテニウムヒドリド触媒によるアルキンの(Z)-選択的ヒドロシリル化反応

武藤 雄一郎（東京理科大学理学部一部科学科）

カルコゲノカルボニル配位子をもつ CpRu 錯体の反応性とその立体化学

鈴木 あゆみ（東京理科大学大学院総合化学研究科）

適応型化学反応制御を指向する自己集積型 Al-サレン錯体の開発

杉山 大峻（東京理科大学工学部工業化学科）

Piceatannol による human Glyoxalase I 阻害の解析

高澤 涼子（東京理科大学薬学部薬学科）

ヒト単球系 THP-1 細胞における亜ヒ酸の細胞毒性発現へのペントースリン酸経路の関与

高橋 勉（東京薬科大学薬学部公衆衛生学教室）

1,10-Phenanthroline 構造をもつ有機金属化合物による血管内皮細胞シンドカン-4 の発現誘導

原 崇人（東京理科大学大学院薬学研究科）

DNA 脱メチル化剤処理 P1798 細胞でのカドミウムによる MT 誘導の PrimeFlow RNA assay 解析

木村 朋紀（摂南大学理工学部生命科学科）

17 : 30 ~ 17 : 40

閉会の挨拶 鍛冶 利幸（東京理科大）

18 : 00 ~ 20 : 00

懇親会（8号館地下多目的室）

バイオオルガノメタリクス研究部門研究交流会
部門長 鍛冶 利幸